

自立と継続



～私たちの成長記録～

三人文殊

立町中学校
浦幌2
学年

一年生の学級目標は「自立と継続」です。みんなが三年生に向けて自ら考え行動し、みんながそれぞれの目標もち、目標を達成するために思いを継続していきました。

1・2年生合同で、学級もてなかつたことや個人での目標達成率や成と」と、「継続が長したところを交流しまし、あまりできなかった。途中から学年ごとに分かつたから」です。

2年生の個人としての達とは、3年生に成率は、70%でした。残りの30%の理由は、「家庭学習をあまり提出できていなかったこと」と「時間に余裕をもてなかつたから」です。

達成できたことは、自分のスマホなどで勉強アプリを入れ「自ら取り組んでいる」と、「部活でキャプテンとしてみんなをリードできたから」です。

学級での達成率は50%でした。残りの50%は個人とおなじで「時間に余裕を

の達成率を高くできるように

3学期の目標

- (えい) 学習面 復習、予習をする
生活面 親の手伝いをする
- (そ) 学習面 1日2時間以上の勉強をする
生活面 早寝早起き朝ごはん
- (いち) 学習面 復習をする
生活面 やることを先にやる

個人目標

後期活動目標		後期活動目標		後期活動目標	
名前 下衣智子	名前 伊島笑生	名前 大西奏乃			
学習面の目標 復習、予習をする	生活面の目標 やることを先にやる	学習面の目標 復習、予習をする	生活面の目標 親の手伝いをする	学習面の目標 1日2時間以上の勉強をする	生活面の目標 早寝早起き朝ごはん

やぎさんゆうびん2

2年生の学級では、担任の和泉先生の通信がです。名前は、「やぎさんゆうびん2」です。週1回から月1になりました理由を聞くと「書く内容がなくなった」といっていましたが、書くことはたくさんあるのだと思いました。

通信の中には、その月の行事やお話が載っています。前までは、和泉先生の小さいときの話や、自分で作った俳句や好きな曲が載っていました。

学級通信



日大雪が降ったこと、高校2年の時に『北の国から』初恋編』を見て姉ちゃんに心を打ち振かれました。他には、体育の授業で勇足中学校との合同バレーの写りが載っていたこと、2年生の今後の



に、三人で頑張っていました。

まだ成長できる部分がたくさんある部分だと感じました。

送りたいです。

3学期の課題

私たちは、3学期の目標をお互いに交流し反省をしました。3人一人ひとりそれぞれの目標をもつてこれからの学校生活に生かしたいと思っています。

3学期の課題(2年)

計画的な勉強
復習
時間に余裕を持て過ぎず
朝からHappyでいる。

＊もつと！

前進！

学級目標達成率(2年)

〈学級〉50% 〈個人〉70%

成長したこと

先輩を真似ながら、後輩を引いていく。
部活でキャプテンとして頑張る。
友達と合点か早とろ。
自分で勉強のペースを上げていく。

ハハホテル

11月22日、23日に私たちは浦幌町内の事業所にて職場体験をさせていただきました。浦幌中学校の生徒の皆さんと合同での体験活動でした。「ハハホテル」、「浦幌町立図書館」にはそれぞれ一人ずつの二人組で、「浦幌認定こども園」には本校一人を含む三人がお世話になりました。二日間の体験で、たくさんのお話を聞かせていただき、「働くことの大切さ」を知ることができました。

一日目は、和室の掃除、シーツと枕のカバーや掛布団を付ける作業、部屋造り、一階の水拭き、EHAHAのFlookMap切り、トイレの掃除、シャワー室の掃除、乾燥機かけ、チェックインの紙切り、シーツをたたむなど、たくさんのお話を体験しました。

この仕事について学んだことは、シーツカバーは痛まないよう裏返しにして洗濯すること、カバーのフアスナーはお客さんに見えるないようにすることです。このように小さな気遣いが素敵だと思いました。

一日目は和室のベッドメイキング、トイレとシャワー室の掃除に加え、リビングの椅子をコロコロで掃除、



働いている人の様子で気づいたことは、すこし周りを

を見ていたり、お客さんを笑顔で迎え入れられたりたくさん話していてフレンドリーでした。

室内だけでなく、外側の環境を整えることも大切なことです(腰、辛いね！)

職場体験中にいくつかの質問をしたなかで印象に残っていることがあります。「この仕事について、一番

大切さを学ぶ

・町内で職場体験学習～

仕事の様子

砂遊び

散歩



体験一日目は三歳児クラスに行きました。流れは、「保育体験」、「散歩」、「昼食」、「午睡補助、衛生管理」です。

二日目は、一歳のクラスに行きました。流れは、「保育体験」、「砂遊び」、「昼食補助」、「午睡補助、衛生管理作業」、「おやつ時間」です。

一つ目は、クラスによって仕事が違うことです。三歳児クラスでは自分でできることが増えてくるので補助するのは午睡のときだけでした。しかし、一歳児クラスでは、この午睡の

作業、「おやつ時間」です。

浦幌認定子ども園

体験で大変だったことは、衛生管理作業です。子供たちが午睡をしている間に、クラスなどにあるすべてのおもちゃを消毒する作業がありました。たくさんあるおもちゃや絵本を一つ一つしっかりと、かつ時間内に終わらせなければいけないのが大変でした。

先生たちは子供たちの安全や成長のために、様々な工夫をしてくださいます。お休み。風邪引かないようにね。(私も眠気がありました。)



お便り帳や日誌……。先生方は毎日書くことたくさんだ。

深められ、楽しく過ごせることです。働くことを経験して、仕事は大変だったけれど、大人になれば当たり前になるので、とてもいい経験になりました。

仕事の様子

ベッドメイキングでは、布団枕などお客様が使うものはすべてきれいにしました。

* 職場体験発表会で製作したパワーポイントより



は、トイレの補助や昼食補助も行いました。

二つ目はコミュニケーションの取り方です。どのクラスも丁寧な言葉遣いに気を付けますが、クラスが下がってくると言葉遣いを単純化させたほうが伝わりやすかったです。



食べ物を食べる時にもしっかりと観察。(おいしいね！)

一緒に遊んでいると童心に戻るような(楽しいね！)





浦幌町図書館



一日目の体験内容は、開館準備（検索機の電源入れ、ブックポストの中の確認、三か月過ぎた本を戻す、新刊のの帯を貼る、新刊コーナーに並べる、カウンターでの中身確認、本をそろえる、貸し出しをする本選びです。二日目は、公民館にもっていく本を車まで運び、開館準備（一日目のに加え自動ドアの電源入れ、新聞を入れ替える）自分の選んだ本のポップ作り、本の修復、食に関する展示する本選びなどを体験しました。



大変だったことは、返却された本を元の場所に戻す作業です。絵本以外の本には番号が細かく書かれていて、その番号はどこにあるのか探すのが大変でした。いている人を見ていて感じたことは、笑顔で仕事に取り組んでいたこと、利用者さんに本を手にとってもうための工夫

をしていたことです。常に雰囲気明るく、優しかったのが印象に残りました。司書さんにくっつか質問をしてわかったことがあります。「この仕事のやりがい」は、自分が選出した本を利用者さんが見てくれた時だそうです。そして「仕事で一番苦労したこと」は、後方の仕事や展示する本の選出だそうです。他にもお話を聞いていて印象に残ったことは、本の種類は一つにくれない面白さがあることです。体験を通して学んだことは、館内だけでなく入口付近にも除籍されている本の貸し出しなどの工夫をしていたり、開館準備やポップづくりなどのバックヤード業務を知ることができて勉強になりました。そして、自分が利用者側で司書さんが笑顔で接してくれるところも笑顔になれるので、笑顔はとっても大事ななと思いま

職場体験で学んだことをパワーポイントを使って発表しました。それぞれ体験したことをうまくまとめて合同だった浦幌中学校とリモートで発表しました。



この発表はお世話になった事業者の方も見

職場体験の感想

職場体験で学んだことをパワーポイントを使って発表しました。それぞれ体験したことをうまくまとめて合同だった浦幌中学校とリモートで発表しました。

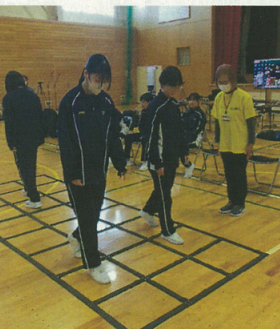


うらほろ学舎の方にも配信のお手伝いをいただきました。



し、見やすいスライドを作るのを頑張りました。

日常生活の生きがいを左右する要素として、
① 健康状態が良い人
② 経済状況が良い人
③ 親しい友人が多い人
④ 外出の頻度が多い人
人こういう人たちがほど、生きがいを感じています。しかし、そんな人もいつ病気や介護が必要になるかわかりません。だから、老後を元気に過ごすにはまだ元気なうちから健康維持、介護予防をす



通い、楽しみながら介護予防にもなるのがとてもいいなと思いました。

総合的な学習の時間

働くことの価値 ～福祉学習～



高年齢者疑似体験では、2人1組となり片方が体に重りやイヤーマフ、サンングラ

スに手袋などを付け杖をついて歩く、もう1人は補助役になります。

疑似体験学習

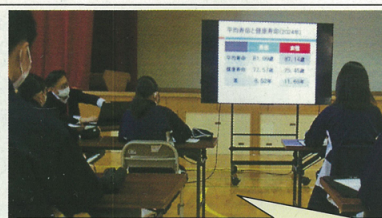
12月4日、全校生徒で福祉学習を行いました。私たちは「高年齢者疑似体験」「ふまねっと体験」や高年齢者福祉について講話で学びました。「高年齢者の幸せや豊かさとは何か」「将来を健やかに過ごすにはどうしたらいいのか」というのを、講話や実際に疑似体験することを通して、高年齢者福祉についてよく学ぶことができました。

高年齢者の生活を疑似体験

うるさかったです。他にも箸が使いにくかったり、体が重くて寝返りが難しかったりと体の不自由さを知りました。

講話

生活支援コーディネーターの方からの講話では高年齢者福祉について学びました。まず「福祉」とは、「幸せ」や「豊かさ」を意味する言葉です。そして「高年齢者福祉」とは、「高年齢者の幸せや生活の豊かさ」と言えるそうです。



講話を受けて、聞いたことがあっても、詳しく正しい理解が進みました。

ふまねっと

「健康長寿」のポイントは社会性がある、毎日よく動き、よく肉料理を食べることが認知症予防にもなります。社会性とは社会参加や社会とのつながりで、その社会参加を増やすために楽しく通える場所、通いやすい場所があることが重要です。

効果的な介護予防として、地域活動に参加している人や社会参加の多い地域に住む人は、認知症になりにくいそうです。

赤い羽根募金

私たちが生徒会書記局は、福祉学習の一環としての活動をおこないました。募金を通して思いやりの気持ちの大切さを改めて考えることができました。

赤い羽根募金は、「助け合い」「思いやり」「しあわせ」を意味する地域で困っている人々を支えるための民間福祉活動を応援する募金活動です。集められた募



金に、支援が必要な人々のための地域の福祉活動や、ボランティア団体を支えるために使われています。



とで大きな支えになることを実感しました。この活動を通して、誰かのために行動することの大切さや、人と人が支えあうことの意味を改めて考えることができました。

今回の経験を今後の生徒会活動や学校生活にも生かし、周りの人のことを考えて行動できる中学生になりたいです。また募金を集めるだけでなく自分達の声掛けや態度によって相手の気持ちが変わることもわかりました。

あいつつは、相手だけでなく、自分の気持ちも前向きにする力があると実感しました。

今回の活動を通して、あいつつの大切を改めて実感しました。これからも自ら進んであいつつをし、明るい学校にしたいです。

最後の上浦幌中学校生徒会執行部として校長先生から認証上を受ける(右から)会長の伊場、副会長の太西と下(以上一年、書記の森(一年))



「木曜レク」開催

生徒会で毎週木曜日の昼休みに行われる木曜レクを実施しました。前期でも実施し、みんなで「UNO」、「ジエンガ」、「ナンジャモンジャ」、「だいてかぶつてじゃんけんぽん」をしました。みんなと遊べることによって新入生とも絆が深まりました。

全校人数が少ないからこそできる木曜レクがすごくみんなに評判で、「楽しかった」「またやりたい」など言ってくれたので、後期も実施することになりました。生徒会で3年生が受験勉強あるからなど話し合い、「11月と2月に行うことが決まりました。」

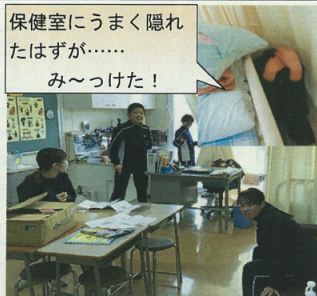
私たちが生徒会は、あいつつ運動を行っています。あいつつを交わすことで学校の雰囲気や少しでも明るく

あいつつ運動

したいという思いで取り組みました。

毎週初めに、書記局4人でローテーションしながら、1年2年3年職員室に

あいつつは、相手だけでなく、自分の気持ちも前向きにする力があると実感しました。



生徒会書記局では、「なんでもアンケート」を行いました。この活動を通して、みんなの声が聞けて学校を自分たちで変えられるかもと感じました。

私たちが学校をよくするため「生徒の意見を聞けるように」という奏名さんの活動を達成させるためなん

生徒と先生と直接かかわることができた。最初は、恥ずかしそうにしている生徒もいたり、目を合わせてくれなかったが、あいつつを交わすたびに自然と笑顔が増えてきました。

何でもアンケート

生徒会書記局では、「なんでもアンケート」を行いました。

後期生徒会書記局主催で、木曜レクを行いました。この活動を通してみんなの絆が深まったように感じました。

まだまだ頑張るぞ☆執行部

ます。バレーは、円になっています。今回その中に先生が入ってやっているのも、昨年であまり考えられなかったもので、すこすうれしく楽しい気持ちになりました。



編集後記

読んでくれた人に、生徒会の様子、国語の学習や学校行事、福祉学習、そして2年生の日常の様子も伝えられるよう意識してこの学級新聞を作りました。

限られた紙面でまとめるのは大変でしたが、この新聞を通して、2年生3年の雰囲気や伝わり楽しんでもらえたらうれしいです。最後まで読んでいただき、ありがとうございます。

☆伊場笑生
☆太西奏名
☆下衣智子